

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市障害者福祉センター神南備園
(2) 指定管理者	所在地 津山市瓜生原 326-1 名称 社会福祉法人 千寿福祉会 代表者 理事長 小林 和彦
(3) 公の施設の所管部署	津山市環境福祉部社会福祉事務所障害福祉課
(4) 指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日
(5) 評価対象期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	年間福祉サービス利用者延数	3,829 人	(前年 3,399 人)
	内 生活介護	2,997 人	(前年 2,876 人)
	共生型通所介護	540 人	(前年 246 人)
	日中一時支援	292 人	(前年 277 人)
	年間入浴サービス利用者延べ数	1,537 人	(前年 1,394 人)
	貸館利用者延数	3,692 人	(前年 4,054 人)
(2) 事業の内容	指定生活介護事業・共生型通所介護・日中一時支援事業・計画相談支援事業・貸館事業・生活困窮者就労訓練事業		

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	54,909 千円
	指定管理料	12,731 千円
	新型コロナ助成金	1,459 千円
	事業収入	39,386 千円
	利用者負担金収入	1,299 千円
	その他の収入	34 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	53,866 千円
	人件費	34,644 千円
	共済費	5,547 千円
	需要費	5,723 千円
	役務費	1,272 千円
	その他支出	3,321 千円
	施設整備等支出費	3,359 千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	令和3年3月に利用者の満足度アンケートを実施し、今後の事業推進に参考としている。
(2) 指定管理者の自己評価	当年度は、共生型通所介護の利用増加により収支決算上で良好で経営は安定している。又、地域貢献の場所として貸館やカフェとしての利用者も例年並みに稼働した。新型コロナの感染拡大においても、新型コロナの助成金を頂き、感染対策の徹底を行うことで変わらず利用者の受入を行った。
(3) 市の評価	コロナ禍の中、各部屋に網戸を新設するほか徹底した感染防止対策がとられ、安心安全な業務運営のもと利用者数(延人数)は共生型通所介護ほか各事業とも昨年と比べ増加している。また、相談支援専門員が1人増員され3人体制となり、年々増加する相談件数に対する相談体制の強化が図られているほか、利用者の声を積極的に取り入れ浴室に暖房設備を新設するなど利用者の福祉の増進が図られている。収支状況については黒字となっており、利用者の満足度アンケートによる結果では満足度は高く、指定管理者の経営努力がうかがえる。